

21世紀に  
伝えたい  
**ちば**の魅力 No.24

日本唯一の建築様式の  
**笠森観音堂**

長生郡長南町

荘厳な雰囲気漂う森の奥に静かにたたずむ笠森観音堂

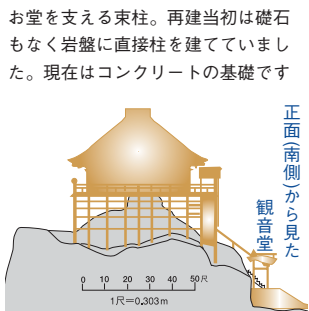
# 四方懸造ってどんなもの？

千葉県のおぼ中央部、長生郡長南町に日本唯一の建築構造「四方懸造」のお堂があります。「笠森観音」の名で親しまれている笠森寺にある観音堂で、坂東三十一番札所です。スギの大木が生い茂る参道を登ると幅約13.3m、奥行き約10m、高さ約27.7mの観音堂「大悲閣」が現われます。



観音堂の回廊からの眺め

清水の舞台で知られる京都の清水寺のように、舞台のように見えるお堂を幾段にも組まれた檣で支えています。下は高さ約16mの大きな粘土質砂岩の岩丘で、四方いずれも地上に接していません。脚



参考「重要文化財笠森寺観音堂修理工事報告書」

部の柱(束柱)は岩に合わせるように長さが異なり、最長のもので約9m。材質はスギカシイです。屋根は銅板平葺き、張り出した舞台は回廊になっていて東側には75段の階段がつけられています。昭和26年に国の重要文化財に指定されました。

岩の上という難しい場所に建てられたのは、既に岩の頂上に安置されていたご本尊に合わせてお堂を造ったためといわれています。ちなみに県内では成東町の波切不動尊、館山市の崖ノ観音も懸造です。

現在の観音堂は昭和33年～35年に解体・修理されたものです。この時に発見された墨書銘によって桃山時代に再建されたものであることがわかりました。その後江戸時代中期から大

正14年までに増築や修理、建材の取り替え、屋根のふき替えなどを繰り返してきました。解体当時で少なくとも360年余りたったこととなります。基礎となる岩の風化や柱の腐食でお堂全体が傾いていま

した。そこで国や県の補助金など1,868万円余りを投じて、束柱までも解体する初めての大規模な修理が、2年3か月にわたって行われました。建材はできるだけ再利用され防腐剤が施され、増築部分ははずして再建当時に復元しました。塗



急な参道を登りきったところにある二天門



芭蕉句碑「五月雨にこの笠森をさしもぐさ」

装も古びたように見える「古色仕上げ」の技術が駆使されています。

笠森寺境内にはほかにも鐘楼堂、六角堂、仁王門、二天門、参道には芭蕉句碑や子授けの桶があります。また銅唐草文釣燈籠(国指定重要文化財)、鑄銅鯉口(県指定有形文化財)、鑄銅孔雀文磬(県指定有形文化財)があり、いずれも県立上総博物館に保管されています。今年10月17日～11月18日までは6年に1度のご開帳で、大法会が行われます。



- 交通 JR茂原駅からバス約20分
  - 開堂 8:00～16:00(4月～9月は16:30まで)  
※雨天は閉堂 ☎0475-46-0536
  - ★長南町観光協会 ☎0475-46-2111
  - ★長南町役場H・P
- <http://www.town.chonan.chiba.jp>



## 観音像はなぜ顔や手が多いの？

笠森寺では寺伝により<sup>うし</sup>丑年と<sup>うま</sup>午年にご開帳が行われます。ご本尊の厨子が開かれるこの1か月間は、普段は厨子の前の御前立仏の手につながれている「お手綱」がご本尊に結びつけられます。参拝者はお手綱に持参の布を巻きつけて願かけをします。ご本尊は木造十一面観世音菩薩立像で、高さ2.56mの一木造りです。4本の手にはそれぞれ宝瓶、蓮座、数珠、錫杖を持っています。観音像はほかにも千手観音や馬頭観音などさまざまな形があります。観音は人々を救うため33種に姿を変えるとされ、十一面観音もその変化の一つ。多くのものは



春の境内。千葉市にある県立中央博物館には20分の1の模型が展示されています

頭上に9つの顔と1体の小さな観音像があり、本体と合わせて十一面となります。各面は慈悲や憤怒などいろいろな形相をしています。



十面印

## たくさんのシダが育つ理由は？

観音堂の南東斜面に広がる約6haの自然林は国指定の天然記念物です。スダジイやクスノキなどが多い典型的な照葉樹林で、スギの大木も目立ちます。ヘラシダ、リョウメンシダ、ホソバカナワラビなど多くの

シダ類が見られ観察に適しています。アマクサシダなど暖地系の種が多いことも森の特徴の一つです。大木と大木の間には適度に日光が差し込む空間があります。また降水量や気温、地下水の影響などが生息に適した環境をつくっていると考えられます。県内では珍しくイチイガシの大木もあります。観音堂の裏側から尾根を歩く関東ふれあいの道(観音様のみち)が整備されていて、途中の展望台からは笠森寺の森が一望できます。5月の新緑と11月の紅葉の時期がおすすめです。



上空から見た笠森寺。7月初旬にはヒメハルゼミの大会唱が響きます



ホソバカナワラビ  
参道の三本杉付近に群生



ヘラシダ  
崖地に生える



リョウメンシダ  
葉が大きく硬い

## これも珍しい

### ●型が独特な

#### 長南袖風

浴衣か職人のはなてんをヒントに考案されたといわれ、別名「長南とんび風」。地元保存会主催の凧揚げ大会や展覧会が開かれています。



●境内に咲くペニバナ  
長福寿寺にある1万株のペニバナ畑。花期は6月下旬～7月上旬で、ペニバナ祭りも開催。山形県のペニバナ栽培は長南町から伝わったと言われます。



### ●山間に広がるハス田

町内坂本地区は町特産のレンコンを栽培するハス田が多くみられます。山間部にあるのは全国的にも珍しい。



●身近にある日常の美術館「as it is」はアフリカ、アジア、ヨーロッパなどの日常品を展示。半年ごとに展示替え。開館は金土・日・祝日の10:30～16:00。  
☎0475-46-2108



# 鎌倉から宍房へ 坂東三十三観音霊場～県内版～

①ご本尊 ②観音堂の構造 ③由来・見どころ  
④例大祭など ⑤交通 ⑥おすすめ寄り道スポット

鎌倉の杉本寺から館山的那古寺まで、1都6県に及び坂東三十三カ所観音霊場。県内の霊場は、笠森寺のほかにも6カ所あります。

## ●笠森寺近くのおすすめ寄り道スポット

「ユートピア笠森」(P2地図参照)

宿泊施設の本館のほかに10種類のお風呂が楽しめるゆうゆう館(写真)があります。

☎ 0475-46-2381



## 二十七番札所 圓福寺 銚子市

- ① 十一面観音
- ② 入母屋造り唐破風向拝付き  
いりもや からほふこつぱい
- ③ 本尊は海から引き揚げられたという伝説があり、海上航海者たちの信仰が厚い。「飯沼観音」の名で親しまれている。
- ④ 4月8日「八日まち」
- ⑤ 銚子電鉄観音駅から徒歩約5分
- ⑥ 太平洋を一望する犬吠埼灯台

## 三十番札所 高蔵寺 木更津市

- ① 聖観音 ② 重層入母屋造り
- ③ 行基の作と伝えられる本尊に祈願して生まれたのが藤原鎌足だったという伝説があり、鎌足産湯の井戸や鎌足桜がある。広い境内に山門、鐘楼などが建つ。
- ④ 2月3日「豆まき」
- ⑤ JR木更津駅からバス約25分
- ⑥ たかくら農産物直売センター

## 二十八番札所 龍正院 香取郡下総町

- ① 十一面観音 ② 入母屋造り
- ③ 竜神をかたどった大しめ縄が目をはく仁王門は室町時代末期の建物で、茅葺き屋根が見事
- ④ 11月18日「大祭」(稚児の練供養など)
- ⑤ JR滑川なべがわ駅から徒歩約20分
- ⑥ 県伝統的工芸品・下総鬼瓦の工場見学



仁王門  
(国指定重要文化財)

## 三十二番札所 清水寺 夷隅郡岬町

- ① 千手観音 ② 入母屋造り
- ③ 京都の清水寺、兵庫の清水寺とともに清水三観音のひとつ。霊水・千尋の池がある。
- ④ 1月17日「初観音」  
8月9日「四万六千日」
- ⑤ JR長者町駅からタクシーで約10分
- ⑥ 菅羽の森公園

## 二十九番札所 千葉寺 千葉市

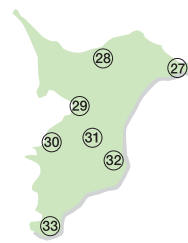
- ① 十一面観音 ② 鉄筋コンクリート造り
- ③ 平安時代から戦国時代にかけて房総最大の豪族だった千葉氏ゆかりの寺。千葉氏滅亡の後、徳川家康により再興された。
- ④ 毎月第3日曜日「骨董市」
- ⑤ 京成電鉄千葉寺駅から徒歩約10分
- ⑥ 千葉市郷土博物館(千葉城址)

## 三十三番札所 那古寺 館山市

- ① 千手観音 ② 入母屋造り
- ③ 動植物の彫刻を凝らした多宝塔は江戸時代の様式で、本尊とともに県指定有形文化財。里見氏ゆかりの寺。
- ④ 8月9日「四万六千日」
- ⑤ JR那古船形駅から徒歩約20分
- ⑥ 鮮魚直売店ふれあい市場



多宝塔(県指定文化財)



坂東三十三カ所観音霊場  
※三十一番は笠森寺